

売上入力

売上入力では、得意先の売上を入力し、売上傳票を作成します。

※新規登録・修正・削除、キー操作方法などは「伝票入力画面 共通基本操作」を参照してください。

1) 売上入力概要

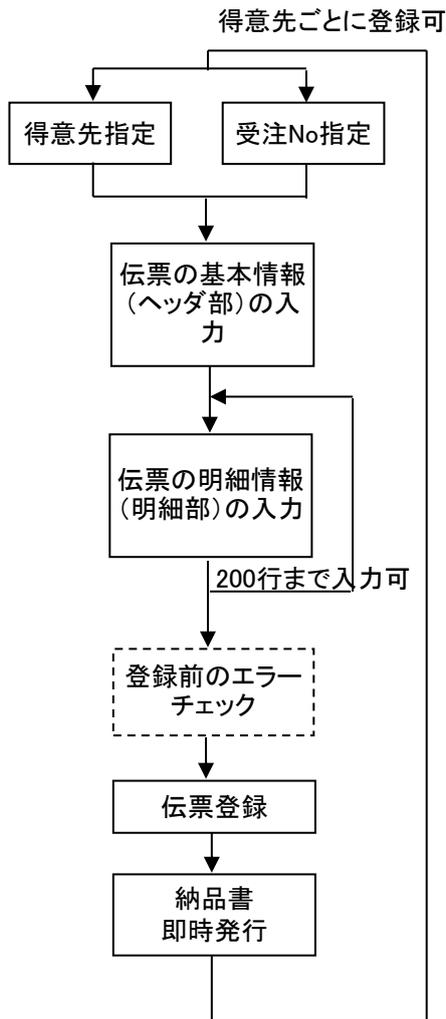
Point

・売上入力することにより、以下の業務が可能となります。

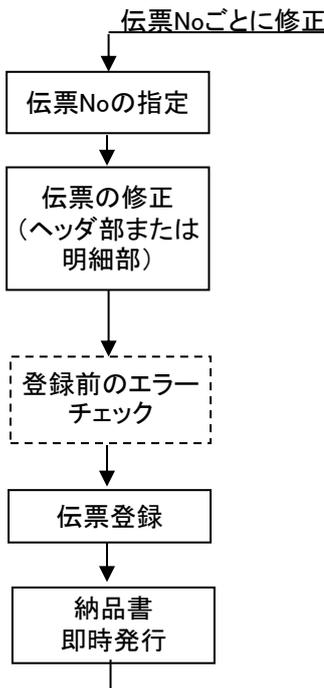
- ① 売上計上した内容から納品書や請求書などの発行ができるようになります。
(海外の得意先の場合は「海外文書(売上)」のエクセルが出力されます)
- ② 売上明細表や分析表、各種一覧表などが作成でき、多角度からの売上集計や分析ができます。

・ 売上入力の操作の流れ

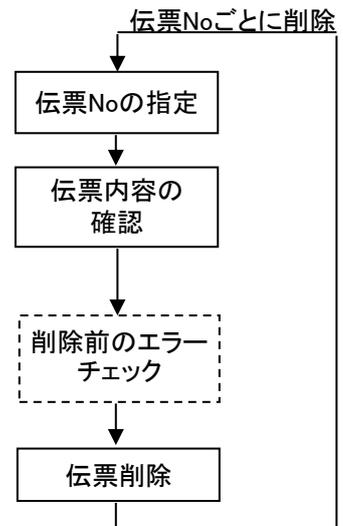
i) 新規登録



ii) 伝票修正



iii) 伝票削除



※売上傳票は伝票Noは重複可能ですので
同じ伝票Noが存在した場合は、伝票一覧が自動で表示されます。
表示された中から対象となる伝票を選択します。

2) 基本情報(ヘッダ部) 項目の説明

入力画面の上部にある基本情報をヘッダ部と呼びます。
ヘッダ部には、1伝票共通で設定できる項目が表示され、入力することができます。

項目名称	説明
伝票No	ほぼ全ての帳票類、伝票類に印字される伝票Noです。 採番管理登録の設定によっては重複することもあります。
受注No	受注からのリレーで発注する場合、受注Noを指定します。
得意先	売上先の得意先コードを指定します。マスタ検索からの選択も可能です。 (SPACEまたはF4キーで検索画面表示) Point <ul style="list-style-type: none"> 得意先名は、得意先マスタの登録内容が初期表示されます。表示後に訂正できます。納品書には伝票の得意先名が印字されます。 F3キーまたは、ダブルクリックでその得意先の登録画面が表示されます。 ※表示された得意先登録画面で内容を変更しても、入力中の伝票に自動的に反映されません。反映したい場合は再度得意先を指定しなおして下さい。
税処理区分	伝票の税処理区分(請求時外税/伝票毎外税など)が表示されます。 伝票の新規入力時は得意先の税処理区分を表示します。修正、削除時は以前に伝票が登録された時の税処理区分の値を表示します。 Point <ul style="list-style-type: none"> 税処理区分は伝票の新規入力時のみ得意先マスタの値とは別の値を指定できます。得意先指定後にEnterキーを押さずにマウスで税処理区分をクリックすることで得意先の税処理区分とは違う税処理区分で伝票を作成できます。 (得意先指定後にEnterキーを押して入力モードに入り基本情報が表示されている状態になった場合は、「取消」ボタンを押下して得意先指定状態に戻ることによって税処理区分を指定できます。)
売上計上	チェックONの場合、売上計上され各売上帳票でも集計され、請求書の発行対象にもなります。 チェックOFFの場合は、売上計上の対象とはなりません。納品書の発行は可能です。 Point <ul style="list-style-type: none"> チェックOFFの場合、売上金額が計上されないため、各帳票ではチェックOFFの売上伝票は集計されません。(一部を除く) 金額はまだ計上しないが納品書を出力する必要がある場合などにチェックOFFで登録します。

項目名称	説明
<p>出庫日</p>	<p>売上品の出庫日を入力します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出庫日は1伝票で1つしか指定できません。 出庫日をわけたい場合は別伝票に入力してください。 ・在庫を売上で減少するか、出庫日で減少するかは、運用設定の在庫引落基準で設定された内容で決まります。 配達(入出荷)日で設定してある場合は、出庫日が在庫数チェックにも使用されます。
<p>売上日</p>	<p>売上日(伝票日付)を入力します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運用設定で指定した入力期間制限を超える日付を指定できません。 入力期間制限を超えている場合伝票登録時にエラーになります。 ・在庫を売上で減少するか、出庫日で減少するかは、運用設定の在庫引落基準で設定された内容で決まります。 伝票日付で設定してある場合は、売上日が在庫数チェックにも使用されます。
<p>請求締日</p>	<p>売上日を入力すると得意先マスタの登録内容から自動で設定されます。</p> <p>例)・月締めで締日が10と20の得意先の場合 売上日2006/05/05 ⇒ 締日 2006/05/10 売上日2006/05/16 ⇒ 締日 2006/05/20</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都度請求の場合 売上日と同じ日が請求締日に設定されます。 <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上を次々回請求締分にしたい場合などは締日を手入力で訂正します。 ただし、得意先マスタに設定されている締日以外の日は指定できません。 ・都度請求の場合は、請求締日は自由に設定可能です。 ・直近の締めがマスタに指定された決算日の場合、その決算日が締日として表示されます。
<p>担当者、 事業所</p>	<p>この伝票の担当者を指定します。 コードを直接手入力するか、SpaceまたはF4キーにてマスター一覧より選択できます。 初期表示される担当者は運用設定の登録内容により異なります。</p> <p>当伝票がどの事業所の売上であるかは、担当者が所属する事業所で決定します。 事業所名は担当者横に表示されています。 事業所は伝票ごとに保持されていますので、登録後に担当者の所属する事業所が変更となってもデータにセットされた事業所は変更となりません。</p>
<p>納入先コード 納入先名 TEL FAX 住所 納ご担当</p>	<p>納入先を指定する。 コード欄ではSpaceまたはF4キーにて納入先マスタ検索して選択可能です。 納入先名や住所などのその他項目は表示後に訂正可能です。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納入先名や住所はマスタから選択せず直接入力することもできます。 ・マスタより選択後に納入先名や住所などを変更した場合、その内容は当伝票にのみ有効です。 マスタの内容は変更されません。 ・表示されている納入先コードを手入力で削除し、次項目へ進んだ場合、納入先情報を削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックすると納入先の項目がクリアされます。 ・海外の得意先のみ、住所3、住所4、納入先ご担当が表示されます。

項目名称	説明
先方担当者	得意先の担当者名を入力します。
先方注文No	得意先指定の注文Noを入力します。
通貨	<p>海外の得意先のみ入力できます。国内の得意先はJPY固定です。 指定された通貨、売上日で月別レートマスタよりレートを取得します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・得意先マスタの通貨が初期表示されます。伝票単位で変更することもできます。 ・通貨が変更されるとレートをマスタより再度取得し、外貨単価、外貨金額が再計算されます。
レート	月別レートマスタから売上日のレートを初期表示します。手入力可能です。
Ship Via 船名等	<p>海外の得意先のみ入力できます。 海外文書に印字されます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船名等はタイトルを選択変更すると出力文書のその欄のタイトルも変更されます。
摘要コード 摘要名	<p>摘要を指定します。 コード欄ではSpaceまたはF4キーにて摘要マスタから選択することができます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・摘要コードを入力せずに摘要名に直接入力することもできます。 ・マスタより選択後に摘要名を変更した場合、その内容は当伝票にのみ有効となります。 マスタの内容は変更されません。
メモ入力 (ボタン)	伝票ごとのメモを入力することができます。 ボタン押下にてメモ入力画面が開きます。

項目名称	説明
品名	<p>売上する商品名を入力します。 商品コード選択時に商品マスタの商品名が初期表示されます。表示後の訂正も可能です。</p> <p>伝区が摘要の場合は任意文字列を入力します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 品名は空白でも伝票登録可能です。 変更した場合は当伝票にのみ有効です。商品マスタは変更されません。
品名2 (型番、規格)	<p>売上する商品名の補足情報を入力します。 商品コード選択時に商品マスタの品名2が初期表示されます。表示後の訂正も可能です。</p> <p>伝区が摘要の場合は任意文字列を入力します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 品名2は空白でも伝票登録可能です。 変更した場合は当伝票にのみ有効です。商品マスタは変更されません。 品名2のタイトル名称は運用設定にて変更できます。
倉庫	<p>売上する商品の出庫元倉庫を選択します。 商品マスタに倉庫が指定されている場合はその倉庫を初期表示します。 商品マスタのロット区分 = 通常商品の場合、F4キーにて表示される倉庫別在庫一覧から選択できます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品の在庫数管理は全て倉庫別に行っています。 在庫管理が必要な商品は倉庫を必ず指定しなければいけません。  <p>※倉庫別在庫一覧は、商品マスタのロット区分 = 通常商品の商品のみ表示します。 ロット商品に関しては、倉庫一覧のみ表示します。</p>
LOTNo	<p>LotNoを指定します。 明細行の商品のマスタで「ロット区分 = ロット商品」と登録している行のみ使用可能です。 売上伝票では必ず指定する必要があります。</p> <p>ロット商品選択時または倉庫変更時、処理日当日で有効在庫が0より大きいLOTNoが自動セットされます。</p> <p>SapceまたはF4キーにて実在庫があるLOTNoのロット別在庫一覧を表示します。 F3キーにて、伝票日付から過去参照日数以内に入庫された全ロットを表示します。 過去参照日数は、運用設定にて設定することができます。 LOTNoを手入力で指定することは出来ません。 一覧から売上を行うLOTNo行を選択して下さい。 LOTNoを指定すると、売上原単価にLOTNoの原単価が自動セットされます。</p> 

項目名称	説明
Lot連番	ロット別在庫一覧から選択したLOTNoの連番が表示されます。入力できません。
賞味期限	ロットNo入力時にロットに賞味期限があれば表示されます。入力できません。
原単価区分	商品登録で指定した原単価区分が初期表示されます。 原単価区分を変更すると原単価区分に対応した原単価が自動表示されます。
単価区分	商品登録で指定した単価区分、単価区分名が初期表示されます。 単価区分を変更すると単価区分に対応した単価が自動表示されます。
入数 ケース	商品マスタに設定している標準入数が初期表示されます。表示後の訂正も可能です。 整数のみ指定可能です。
売上重量	売上重量を入力します。 商品マスタの単位重量が設定されている場合、「数量×商品マスタの単位重量」が表示されます。 Point ・重量の小数以下桁数は、運用設定で設定されています。
売上数量	売上数量を入力します。 Point ・受注残は数量で管理しています。受注数>売上数の場合、受注残が残った状態になります。 ・数量の小数以下桁数は、運用設定で設定されています。
重量単位	商品マスタに設定された重量単位が表示されます。
単位	数量の単位を入力またはリストから選択します。 リストには単位マスタに登録されている内容が表示されます。 商品マスタの登録内容が初期表示されます。
売上原単価	売上原価の単価を入力します。 商品マスタの売上原価計算法が「標準原価」の場合は標準原価が、 「LOT原価」の場合は、LOTNo入力時にLOT原価が設定されます。 「最終仕入」「倉庫別移動平均」「月別総平均」の場合は、在庫単価が初期値として設定されますが、 月次処理の原価再計算を実行すつことで、各原価計算法で計算された値で洗い替えされます。
単価	売上単価を入力します。伝区が摘要の場合は入力できません。 新規伝票では得意先マスタの単価種類の設定に応じて、初期表示される単価が決定します。 通貨が「JPY」以外の場合は入力できません。外貨単価×レートが設定されます。 Point ・単価の小数以下桁数は、運用設定で設定されています。

項目名称	説明
	<p>SpaceまたはF4キーにて単価情報画面が表示されます。 単価情報画面には商品マスタに登録されている単価と得意先商品別単価が表示されます。 この一覧から単価を選択し直すこともできます。 得意先マスタに設定されている単価掛率も表示されます。掛率は変更できます。 ただし、商品マスタの掛率要否が「不要」場合、掛率は表示されません。</p> <div data-bbox="121 443 341 568" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>単価を選択し、OKボタンにて採用。 掛率を変更することも可能。</p> </div>  <p>F3キーにて売上単価履歴が表示されます。 初期表示では得意先と商品が伝票と同じ受注、売上を表示しますが条件を変更して再検索できます。</p> 
売上原価	<p>売上数量 × 売上原単価が表示されます。手入力も可能です。 (売上入力の場合、原単価区分、売上原価の設定によって重量 × 単価となります。)</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 輸出入経費入力にて輸出経費を配賦しない場合は 売上金額と売上原価から伝票全体の粗利と粗利率が計算され、計行に表示されます。
売上金額	<p>単価区分によって計算方法が異なります。 P:数量 売上数量 × 単価の値が表示されます。 C:ケース 売上ケース数 × 単価の値が表示されます。 K:重量 売上重量 × 単価の値が表示されます。 マイナスの入力も可能です。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 数量や単価を入力せずに受注金額のみの手入力も可能です。 通貨が「JPY」以外の場合は入力できません。外貨金額 × レートが設定されます。

項目名称	説明
外貨単価	<p>海外の得意先のみ表示されます。</p> <p>通貨コードが外貨(JPY以外)の場合は、こちらに単価が初期表示されます。外貨単価を入力すると「外貨単価 × レート」が売上単価に表示されます。</p> <p>小数点以下の表示桁数は、通貨マスタで設定します。F3キーにて単価履歴画面、F4キー(またはSpaceキー)にて単価計算画面が表示されます。単価履歴画面、単価計算画面は基本情報の通貨が一致するもののみ表示されます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 得意先別単価登録、通貨別単価登録で登録した単価が初期表示されます。 通貨が「JPY」の場合は入力できません。
外貨金額	<p>海外の得意先のみ表示されます。</p> <p>通貨コードが外貨(JPY以外)の場合は、「外貨単価 × 数量」が表示されます。外貨金額を入力すると「外貨金額 × レート」が売上金額に表示されます。</p> <p>小数点以下の表示桁数は、通貨マスタで設定します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 通貨が「JPY」の場合は入力できません。
備考1 備考2	<p>明細行の備考として任意の文字列を入力できます。備考マスタで登録している内容をリストから選択することもできます。</p>
マーク (ボタン)	<p>マークをマウスでクリックし、チェック状態にすることで明細行にマーク(印)をつけて、明細表出力時に絞り込みができます。</p>
再不 (ボタン)	<p>売上原価再計算不要フラグです。チェックONにすると該当明細行は売上原価再計算の対象外となります。</p>
税区分	<p>課税または非課税を選択できます。商品マスタの内容が初期表示されます。</p>
配賦後原価	<p>配賦金額を含めた原価を表示します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 売上金額と配賦後原価から伝票全体の粗利と粗利率が計算され、計行に表示されます。
配賦金額	<p>輸出入経費入力にて配賦された金額を表示します。</p>

4) 明細情報(計行) 項目の説明

明細部の下に横並びに表示されている箇所を、計行と呼びます。
 計行では伝票時外税の得意先の外税額のみ手入力できます。
 その他入力できる項目はありません。明細部の情報を集計して、その結果を表示します。

※以下、下線(緑字)の項目は伝票機能にて、使用する、しないを選択できるものです。
 詳細は「伝票機能設定」マニュアルを参照してください。

項目名称	説明																
粗利益率	<p>伝票全体の $\text{粗利益} = \text{売上金額計} - \text{売上原価計}$、$\text{率} = (\text{粗利益} / \text{売上金額計}) \times 100$ で計算され表示されます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 粗利益及び率には現在明細行に入力中の金額も反映されます。 率の小数点以下は四捨五入となります。 輸出入経費入力にて輸出経費が配賦されている場合は配賦後原価にて計算されます。 $\text{粗利益} = \text{売上金額計} - \text{配賦後原価計}$、$\text{率} = (\text{粗利益} / \text{売上金額計}) \times 100$ 																
金額計	伝票全体の売上金額合計が表示されます。																
値引	<p>伝票全体に対しての値引を入力します。</p> <p>F4またはスペーキーを押すと、値引額設定画面が表示され、 入力中の明細税区分の税率ごとに、金額で按分された値引額を 確認することができます。 按分時に端数が生じる場合は、先頭行の値引額にしわ寄せされます。</p> <div data-bbox="395 1144 933 1608" data-label="Image"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>税区分</th> <th>税率</th> <th>税抜金額</th> <th>値引額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 課税</td> <td>8</td> <td>734</td> <td>-266</td> </tr> <tr> <td>2 軽減</td> <td>0</td> <td>733</td> <td>-267</td> </tr> <tr> <td>3 非課税</td> <td>0</td> <td>733</td> <td>-267</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>受注をリレーして売上入力した場合、受注の値引額がそのまま表示されます。 値引額は初回売上時のみ全額表示されますので、分納売上を行う場合は値引額を手入力にて 修正してください。</p> <p>海外の得意先の場合は「値引」は表示されません。</p>	税区分	税率	税抜金額	値引額	1 課税	8	734	-266	2 軽減	0	733	-267	3 非課税	0	733	-267
税区分	税率	税抜金額	値引額														
1 課税	8	734	-266														
2 軽減	0	733	-267														
3 非課税	0	733	-267														

項目名称	説明
税額	<p>伝票毎外税の伝票の場合、「外税額」と表示され、伝票全体の消費税額が計算され表示されます。</p> <div data-bbox="368 315 587 405"> </div> <p>F4またはスペースキーで「伝票税額設定」画面が表示され、入力中の明細税区分と税率ごとの消費税額を確認することができます。表示された消費税は手入力にて変更することも可能です。</p> <div data-bbox="368 479 900 775"> </div> <p>Point</p> <p>例) 100円の商品を受注し、外税が5円だった伝票の税額を、4円に修正して登録した場合、受注明細表には以下のように印字されます。</p> <p>変更前... 行1 ○○商品 受注金額 105円 ⇒ 税込出力で105円と表示</p> <p>変更前... 行1 ○○商品 受注金額 105円 行256 消費税 受注金額 -1円 ⇒ 行No256の消費税伝票が自動で作成され、修正差額分を受注金額にセットして、端数調整する。</p> <p>伝票毎内税の得意先の場合、「内税額」と表示され、伝票全体の消費税額が計算され表示されます。消費税額の訂正はできません。 請求時外税の得意先の場合、税額の欄は表示されません。</p> <p>伝票毎外税は以下の通りです。 伝票毎外税...明細行毎に消費税を計算(調整税)しますが伝票税は伝票の合計金額で算出します。</p> <p>受注をリレーして売上入力しても、外税額は売上日(とその税率)を基準として再計算されます。受注で外税額を訂正している場合は、売上入力でも手入力にて修正してください。</p>
合計金額	金額計+税額 の値が表示されます。

5) 売上傳票更新におけるその他注意事項

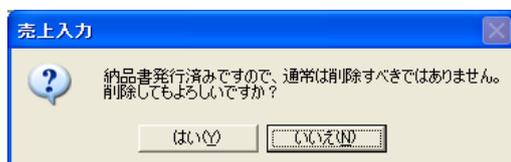
修正

- ・修正で伝票を開いた場合、どの項目も修正していないと伝票登録はできません。
- ・伝票を修正登録した場合、発行済みだった納品書は未発行状態に戻ります。
(納品書の即時印刷機能が有効の場合、再度即時印刷できます)
- ・売上の伝票機能にて「請求時一括消費税伝票の修正削除あり」が有効の場合、請求時一括消費税の得意先に関しては、請求締切処理で自動で作成される消費税伝票を修正で呼出し、金額を訂正することができます。
消費税伝票は以下の計算で作成されます。
例) 末締め得意先で、6月末指定で請求締切処理をおこなった場合。
6月1日～6月末までの売上合計(税抜) × 0.05 ⇒ A
6月1日～6月末までの明細行ごとの消費税合計 ⇒ B
消費税伝票の額 = A - B

※消費税伝票は計算結果が0円でも作成されます。
請求締切の詳細は「8.2請求締切処理、請求確定処理」参照

削除

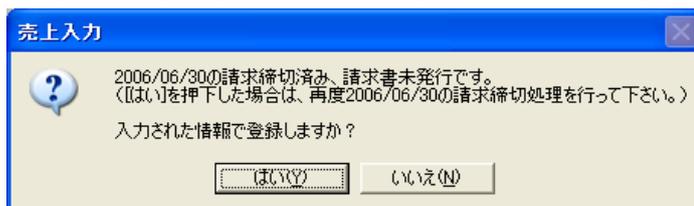
- ・納品書類(どれか1つでも)出力後に、対象伝票を削除しようとするると以下の警告メッセージが出力されます。「はい」押下にてそのまま削除することも可能です。



納品書発行済みかどうかは、納品書類のプレビューを表示または印刷したかどうかで判定しています。(即時印刷実行も発行済みとなります)

新規、修正、削除 共通

- ・ある得意先の請求締切後に、その得意先に対して、締切済み期間内の伝票を新規追加、修正、削除しようとした場合、以下のような警告メッセージが表示されます。
運用設定の請求済許可が「しない」の場合は、伝票登録できません。
どうしても登録したい場合は、請求済許可を「する」に変更してから伝票登録してください。
許可している場合は、「はい」押下にて伝票登録できます。
伝票登録後は対象の得意先に対して請求締切処理と請求一覧表出力を再実行することをおすすめします。



また、請求書発行済みかどうかは、請求締切処理後、合計請求書のプレビューを表示またはプレビューなしで直接印刷したかどうかで判定しています。

- ・仕訳連動オプションを導入している場合、仕訳作成済の伝票に関しても上記の請求済許可と同様に警告メッセージが表示されます。
運用設定で許可しない設定にしている場合は、仕訳作成済の伝票の修正、削除はできません。

6) 与信チェック

売上入力では、運用設定の設定により伝票更新時に与信チェックが行われます。

与信限度額チェックをする … 登録時に得意先マスタに登録された与信限度額をオーバーしていないかチェックを行います(警告、エラーが設定されている場合)

与信チェックされる内訳金額は、画面上部メニューの「その他」-「得意先債権情報の表示」から確認できます。



得意先債権情報画面

Point

- ・ 消費税は全て調整税で集計されます。
- ・ 買掛残高、未落支手、買掛債務は得意先マスタの「相殺仕入先」が設定されている仕入先に対する金額を集計します。
- ・ 仕入入力には与信チェックはありませんが、「その他」-「仕入先債務情報の表示」からほぼおなじ画面が表示されます。
- ・ 仕入先債務情報では、伝票日付時点の、一括税が集計されます。
- ・ 仕入先債務情報に表示される売掛残高などは、仕入先マスタ相殺得意先に設定されている得意先」の金額を集計しています。

項目名称	説明
与信限度額	与信限度日までの与信限度額 $(\text{粗利益} = \text{受注金額計} - \text{受注原価計}, \text{率} = (\text{粗利益} / \text{受注金額計}) \times 100$ 臨時の与信限度日が設定されている場合、 与信限度日→臨時の与信限度日、与信限度額 → 通常+臨時の与信限度額 臨時の与信限度日が設定されていない場合は 与信限度日→通常の与信限度日、与信限度額 → 通常の与信限度額)
売掛残高	与信限度日までの売掛残高金額 (調整税で集計)
未落受手	伝票日付(受注日)時点で手形期日が未到来の手形入金額 Point 伝票日付(受注日) ≤ 期日 の場合、未落ちと判定されます。
売掛債権	売掛残高 + 未落受手
買掛残高	与信限度日までの得意先マスタ相殺仕入先の買掛残高 (調整税で集計)
未払残高	与信限度日までの得意先マスタ相殺仕入先の未払残高 (調整税で集計)
未落支手	伝票日付時点での、得意先マスタ相殺仕入先の未落支払手形
買掛債務	買掛残高 + 未払残高 + 未落支手
純売掛債権	売掛債権 - 買掛債務 - 前受残高 Point 運用設定が以下の設定の場合、純売掛債権 > 与信限度額になると背景が赤表示されます。 与信限度額チェックをする → 警告、またはエラー 営業債権で与信チェックする → しない